

2023年度跡見学園女子大学附属心理教育相談所活動報告

1. 2023年度 年間活動報告

所員の構成

令和5年度の相談所の所員構成は、相談所相談員・補助相談員（臨床系教員）12名、事務担当者3名、インテーク面接担当者10名であった。

令和5年度相談員・補助相談員と開所日

令和5年度相談所開所日と相談員・補助相談員は以下のごとくであった。

令和5年4月4日（火）から令和5年8月5日（土）および令和5年8月21日（月）から令和6年3月30日（土）までは週6日開所とした。令和5年12月24日（日）から令和6年1月8日（月）の冬季休業中は閉所とした。

また、文京分室 ATOMI さくらルームにおいては、上記開所日のうち、木曜日・土曜日を開所とした。

相談員	下山 晴彦	（臨床心理学科・教授）
	阿部 洋子	（臨床心理学科・教授）
	新井 雅	（臨床心理学科・准教授）
	小栗 貴弘	（臨床心理学科・准教授）
	酒井 佳永	（臨床心理学科・教授）
	板東 充彦	（臨床心理学科・教授）
	福島 里美	（臨床心理学科・講師）
	前場 康介	（臨床心理学科・准教授）
	松壽 くみ子	（臨床心理学科・教授）
	宮岡 佳子	（臨床心理学科・教授）
	宮崎 圭子	（臨床心理学科・教授）
補助相談員	鈴木 眞理	（臨床心理学科・特任教授）

相談所周知のための活動

本相談所のパンフレットを、他大学相談所等（104カ所）、近隣小・中・高等学校（75カ所）、近隣の保育園・幼稚園・放課後児童保育室（166ヶ所）、教育委員会・教育相談センター等（5カ所）、病院・クリニック（2カ所）、保健センター・児童相談所・子育て支援センター等（17カ所）、その他民間相談室等（2ヶ所）に送付し、あわせて本学公開講座受講者、本相談所無料講習会受講者にも配布した。

【相談所パンフレット】



跡見学園女子大学

跡見学園女子大学 心理教育相談所

- 新座キャンパス 心理教育相談所 開室時間(月～土曜日:9:30～16:30)
〒352-8501 埼玉県新座市中野1-9-6 TEL:048-478-2177
- 文京分室 ATOMI さくらルーム 開室時間(木・土曜日:13:00～16:50)
〒112-8687 東京都文京区大塚1-5-2 TEL:03-3944-8151
<http://www.atomi.ac.jp/univ/shinri/index.html>

【 ご相談内容 】

跡見学園女子大学心理教育相談所では、女子大学の特徴を活かし、原則として主に子供、青少年、女性に関連するテーマのご相談をお受けています。

学校に関する悩み

- 学校にいけない
- いじめにあっている
- 友達とうまく付き合えない
- 学業について困っている など

家庭生活に関すること

- 非行や家庭内での暴力に困っている
- 夫婦・親子・家族関係に悩みがある
- 近所付き合いについて悩んでいる
- 生活環境に問題がある など

職業に関すること

- 仕事が続かない
- 仕事にいけない
- 職場の人間関係で困っている
- 就職・転職について悩んでいる など

育児や障がい児の教育の悩み

- 子育てに困っている
- 障がい児のことで悩んでいる
- 障がい児にどう向き合うか困っている
- 障がい児をいかに育てるかを知りたい など

自分自身の性格や健康

- 人と話すのが苦手だ
- 自分の性格について悩んでいる
- 自分の精神的健康に自信がない
- 生き方について悩んでいる など

検査

- 知能検査
- 発達検査
- 発達障がいの検査
- 学習障がいの検査

※このようなご相談に対して、カウンセリング、心理療法、心理テストなどを行っています。 ※ご相談内容につきましては秘密厳守いたします。
※ご相談の内容によってはお引き受けできない場合もございます。

不登校を考える親の会(新座:月1～2回水曜日の午前10時～12時、文京分室:月1～2回土曜日の午後13時～15時)

【 受付から相談まで 】

本相談所は完全予約制となっております。 まずはお電話にてお申し込みください。

【予約受付電話番号】 受付時間:午前9時～午後4時

新座キャンパス心理教育相談所 **048-478-2177**

文京分室 ATOMIさくらルーム **03-3944-8151**

初回の相談の予約をお取りし、ご相談の詳しい内容やこれまでの経緯、その他必要と思われることについて、臨床心理士およびカウンセラーが伺わせていただきます。

※電話での相談は受け付けておりません。また、大学の長期休暇等で受付時間を変更する場合があります。

- ・本相談所は臨床心理学専攻の大学院生の教育・研究機関を兼ねています。
- ・大学院生が陪席および相談を担当させていただく場合がございます。その場合には教員の指導の下に行います。



面接室

毎年新座・文京各3回程度、教員による心の問題をめぐる「講習会」(無料)を開催(詳細はホームページ)

【相談料】



プレイルーム

- (1) 個人面接 [初回(受理)] 3,000円
..... [二回目以降] 2,000円
- (2) 集団面接 [一回] 1,000円
- (3) 心理検査 [一回] 3,000円
- (4) 子ども支援 [一回] 500円
- (5) 文書発行料 [一通] 500円

※医療機関ではありませんので保険の適用はできません。
※その他、ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

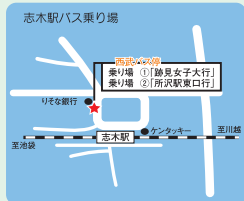


待合室

【アクセス】

新座キャンパス 心理教育相談所

〒352-8501 埼玉県新座市中野1-9-6
※予約受付電話番号：048-478-2177



○東武東上線「志木駅」下車
南口より西武バス約15分
「跡見学園女子大学」下車



○JR武蔵野線「新座駅」下車
北口より大学バス約7分
※ご来所の際は門衛所にお立ち寄り下さい



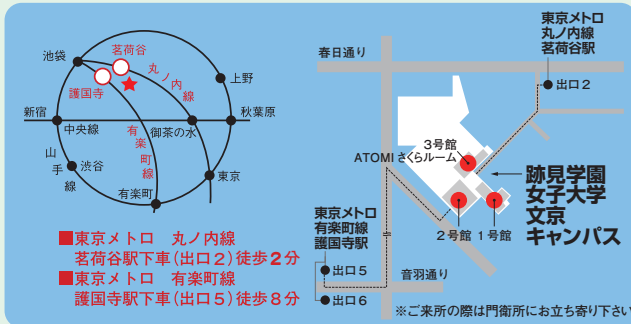
新座キャンパス 案内図



新座キャンパス
心理教育相談所 入口

文京分室 ATOMI さくらルーム

〒112-8687 東京都文京区大塚1-5-2
※予約受付電話番号：03-3944-8151



■東京メトロ 丸ノ内線
茗荷谷駅下車(出口2)徒歩2分
■東京メトロ 有楽町線
護国寺駅下車(出口5)徒歩8分

春日通り
東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅
出口2
ATOMI さくらルーム
跡見学園女子大学 文京キャンパス
3号館 2号館 1号館
東京メトロ有楽町線 護国寺駅
音羽通り
出口5
出口6
※ご来所の際は門衛所にお立ち寄り下さい



面接室(さくらルーム)

2. 相談活動報告

2023年4月1日から2024年3月末日までの相談としては、新規相談件数41件、延べ相談888回数件、延べ来所人数1025名であった。

来談者の主訴は、子供の学校における問題、引きこもり、親子関係の問題、家族の問題など現代の世相を反映する傾向が認められた。月別来談者数および相談内容は以下のごとく。

表1. 月別来談者数

2023年4月～2024年3月末の来談者数

【新座キャンパス相談所】

() は内遠隔数

	初回相談件数 (件)	延べ相談回数 (回)	延べ来所人数 (名)
2023年4月	2	54 (4)	62 (4)
5月	4	76 (5)	92 (5)
6月	3	70 (4)	82 (4)
7月	3	75 (4)	97 (4)
8月	2	36 (4)	43 (4)
9月	4	78 (3)	96 (4)
10月	5	67 (4)	76 (4)
11月	3	83 (5)	91 (5)
12月	0	73 (7)	81 (7)
2024年1月	1	50 (4)	56 (4)
2月	4	60 (2)	65 (2)
3月	5	54 (3)	64 (3)
2023年度合計	36	776 (49)	905 (50)

【文京分室 ATOMI さくらルーム】

() は内遠隔数

	初回相談件数 (件)	延べ相談回数 (回)	延べ来所人数 (名)
2023年4月	0	8 (4)	8 (4)
5月	0	10 (4)	10 (4)
6月	1	8 (4)	10 (4)
7月	2	14 (4)	16 (4)
8月	0	3 (2)	3 (2)
9月	1	15 (4)	16 (4)
10月	0	14 (4)	15 (4)
11月	0	8 (2)	8 (2)

12月	0	10 (3)	10 (3)
2024年1月	1	5 (2)	6 (2)
2月	0	10 (4)	10 (4)
3月	0	7 (3)	8 (3)
2023年度合計	5	112 (40)	120 (40)

表 2. 来談者の相談内容

2023年4月～2024年3月の来談者の主訴

来談者による主訴の種類	件数
家族の相談	33
自分自身の問題・性格	51
抑うつ・情緒不安定	1
対人関係	5
社会不適應	0
不登校	8
不登校の親の会	7
その他	39

3. 不登校を考える親の会報告

わが国の小・中学生の不登校は相変わらず29万人を超えている。そのような子どもに対して直接働きかけることは非常に難しく、次善の対応として親へのサポートがある。本相談所でもそれを行うべく、相談活動の一環として「不登校を考える親の会」を月に1～2回（新座キャンパス：第1、第3水曜日の10時～12時、文京分室 ATOMI さくらルーム：第2、第4土曜日の午後1時～3時）、開催した。来年度は新座キャンパス：月1回 水曜日の10時～12時、文京分室 ATOMI さくらルーム：月1回 土曜日の13時～15時で継続して活動していく予定である。



跡見学園女子大学

跡見学園女子大学附属心理教育相談所

「不登校を考える親の会」のご案内

小・中学生の不登校は、増加傾向にあり29万人を超えています。学校に行かない子どもには、ひとりひとりそれなりの事情があります。

学校に行けない、行きしる、教室に入れない、朝起きられない、朝になると体調が悪くなる、イライラしている、落ち込んでいる、昼夜逆転している、部屋に引きこもっている、友達とうまくいかない、こんな様子はありませんか。

このような子どもをどう理解すればいいのか、どう向き合えばいいのか、親の会で、みなさまと一緒に話し合い、考えてみませんか。

***担当スタッフ**：相談所所属

***日時・場所**：2024年4月より2025年3月まで

新座キャンパス心理教育相談所、文京分室 ATOMI さくらルームともに開催しています。

（コロナ状況によっては、Zoom を利用した開催の場合もあります。）

新座キャンパス心理教育相談所

水曜日(月1回) 10:00～12:00 (2時間)

<https://www.atomi.ac.jp/univ/shinri/facility/>

文京分室 ATOMI さくらルーム

土曜日(月1回) 13:00～15:00 (2時間)

<https://www.atomi.ac.jp/univ/shinri/facility/#bunkyo>

※8月は休会となります。

※継続的な参加、単発的な参加どちらでも可能です。

※不定期の休会もございますので日程につきましてはホームページまたはお電話にてご確認ください。

***定員**：6名

***参加費**（相談料）：1回 1000円

***申し込み方法**：希望日の前日16:00までに、
下記へお電話でお申し込みください。
（初めての方は1週間前迄にお申し込みください）

申し込み・お問い合わせ

跡見学園女子大学附属心理教育相談所

（埼玉県新座市中野1-9-6）

TEL 048-478-2177（相談受付/月～土 9:00～16:00）

ホームページ <https://www.atomi.ac.jp/univ/shinri/>



4. 講習会報告

多くの方々に本相談所の存在を認知して頂くための活動の一環として平成15年度より開催してきた『一般対象向け無料講習会』を、今年度も開催した。

講習会を広報するとともに本相談所の存在を知ってもらい、心の問題を抱えているにもかかわらず専門機関に相談することをためらっている人に、本相談所を訪れるきっかけを作ることを目的とした。講習会の広報については、前年度参加者へのご案内、地域広報誌・ホームページ等の掲載により行った。

講習会日程と参加人数

今年度は講習会を新座キャンパスにて全3回、文京キャンパスにて全3回開催した。開催日時およびテーマについては各講習会講師による講習会の概要報告の項を参照されたい。

例年新座は春学期、文京は秋学期の開催だったが、今年度は新座・文京ともに秋学期開催となった影響もあり、講習会の延べ参加人数は新座キャンパス35名、文京キャンパス54名であった。受講者の性別、年齢、職業、居住域、講習会を知った媒体については、以下の受講者傾向を参照されたい。併せて受講後アンケートの結果も以下に示してある。

受講者の傾向（新座キャンパス・文京キャンパス参加者合計89名）

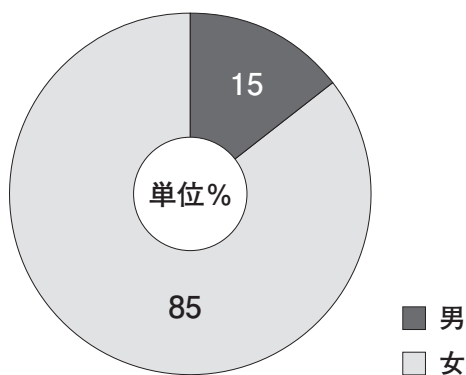


図1 講習会参加者性別構成 (N=89)

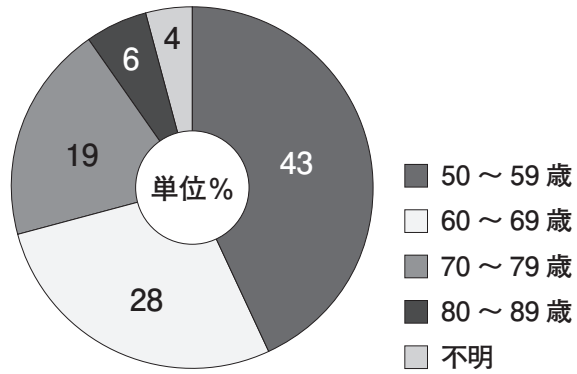


図2 講習会参加者年齢構成 (N=89)

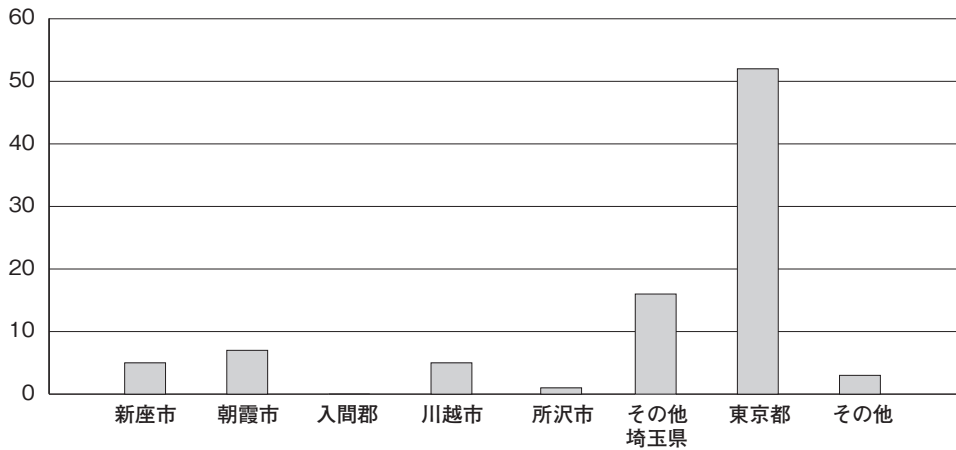


図3 講習会参加者居住地内訳 (N=89)

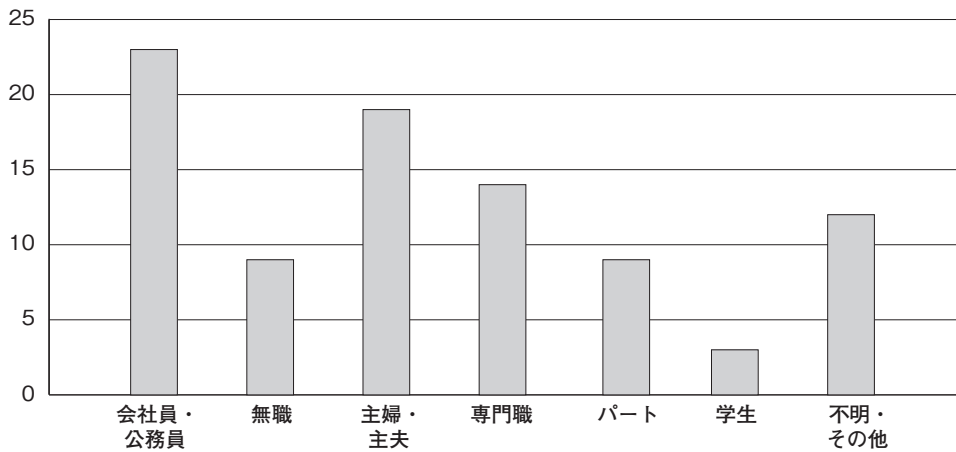


図4 講習会参加者職業内訳 (N=89)

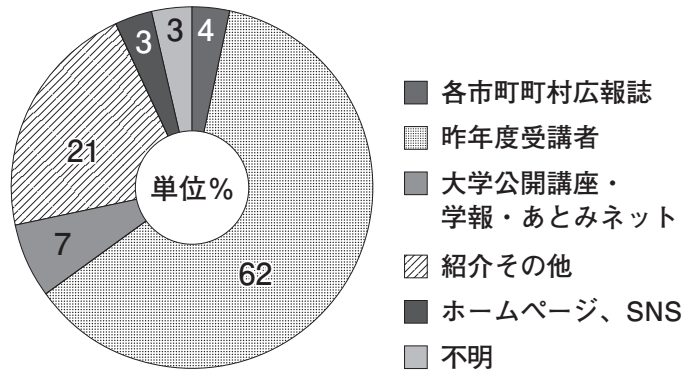


図5 講習会参加者経路内訳 (N=89)

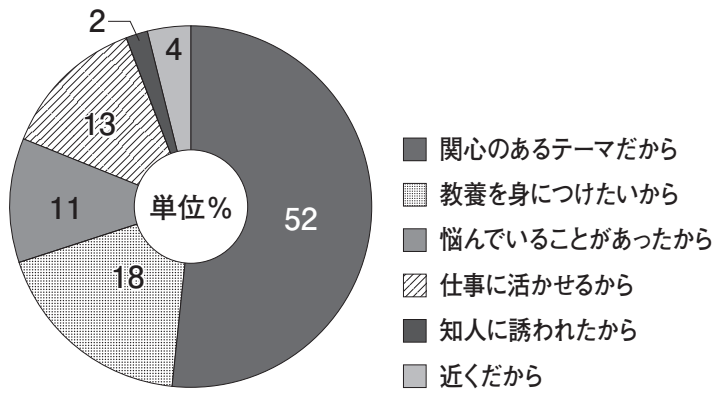


図6 受講した理由 (N=160：複数回答あり)

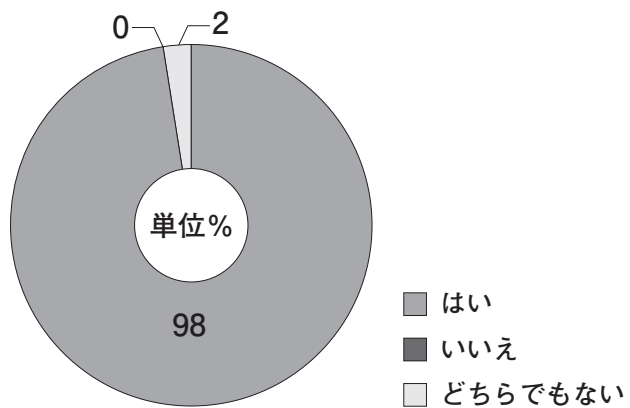


図7 講習会の内容を今後の生活にいかせると思うか (N=89)

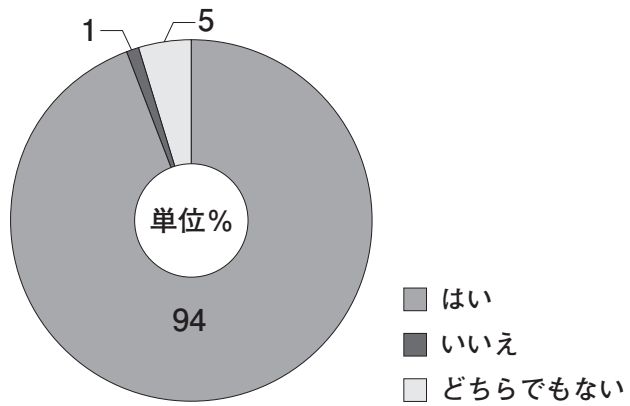


図8 自分自身の悩みや問題を解決する手助けになったか (N=89)

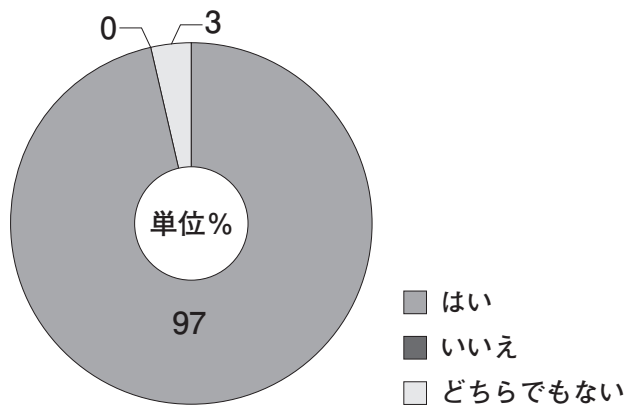


図9 受講内容は期待どおりだったか (N=89)

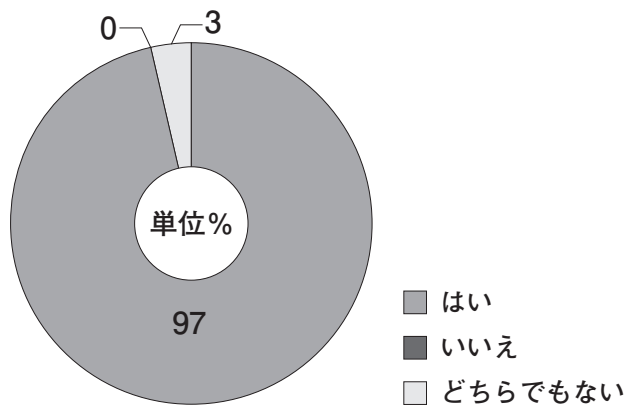


図10 講習会があったらまた参加したいか (N = 89)

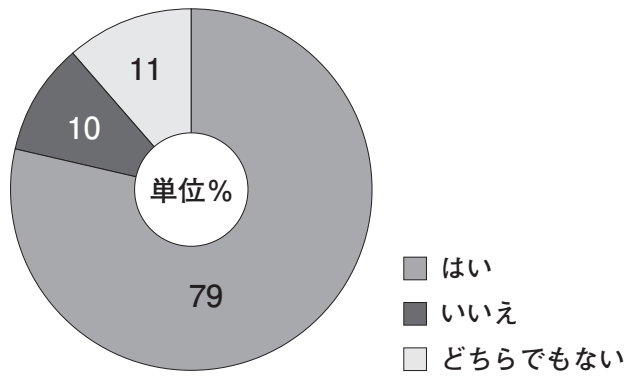


図 11 機会があれば当相談所で相談してみようと思うか (N=89)

5. 講習会 概要報告

<1> 11月11日(土)・1月27日(土)

知っておきたい更年期のころとからだ

鈴木 眞理

日本人の閉経は45～55歳です。人生100年時代と言われる今、閉経後に生活習慣病が増加するので、更年期はその後の健康に備える時期と捉えられるようになりました。また、国は働き方改革で女性の就労を推進し、女性の健康は健康経営の主要な課題になっています。例えば、月経随伴症状による1年間の労働損失を含む社会経済損失は約6800億円と試算されています。本講習会では更年期とその対処について知識を深めることを目的にしました。

男性ホルモンも女性ホルモン(エストロゲン)も原料はコレステロール、皮下脂肪は月経維持に重要なホルモンを分泌、女性は閉経前には心筋梗塞が少ないなど、エストロゲンは女性の身体を守っているという基礎知識の上で、卵巣の卵子の数が減ることでエストロゲンが低下し、低下に従って月経が止まり、のぼせ、疲れやすさ、不眠、物忘れ、尿失禁が、ついで、骨粗鬆症や高コレステロール血症が出現することを解説しました。更年期症状の重症度のセルフチェックを紹介しました¹⁾。配偶者の理解が悪いと更年期症状が強く出やすいとお伝えしたところ、苦笑も出ました。更年期症状を緩和する生活でのアドバイスとして、食事(規則正しい時間と30品目の食品、ビタミンB6やE、カルシウムやマグネシウムに富む食品、大豆製品のイソフラボン)、十分な睡眠、運動(ヨガ、スクワット、インターバル速歩、家事労働)、失禁を予防する骨盤底筋運動、ストレス・マネジメント(認知、コーピング、深呼吸法や筋弛緩法、マインドフルネス)を、治療として補充療法や漢方薬治療を紹介しました。閉経後に増える高コレステロール血症、骨粗鬆症、ロコモティブシンドローム(ロコモ:運動器症候群)を解説して、骨折²⁾や血管障害³⁾のリスクの自己診断ツールを試すことを勧めました。最後に男性の更年期障害であるLOH症候群の症状、診断方法、治療を紹介しました。受講者の皆様やご家族の幸年期を願います。

1) 女性の病気セルフチェック 更年期障害チェック(女性の健康推進室ヘルスケアラボ)

http://w-health.jp/self_check/self_check_08/

2) FRAX®骨折リスク評価ツール(公益財団法人骨粗鬆症財団)

<https://frax.shef.ac.uk/FRAX/tool.aspx?lang=jp>

3) 冠動脈疾患・脳卒中発症予測スコア(国立循環器病研究センター)

https://www.ncvc.go.jp/pr/release/20200228_press/

< 2 > 11月18日(土)・1月27日(土)

日本的な親子関係と心の健康～子育てスキルの国際比較から見えること～

福島 里美

昨今の子育て支援現場では、子育て力を高める様々なトレーニングが導入されています。いずれも心理学的なエビデンスに基づき、子どもに対する接し方の幅を広げるものです。しかし一方で、文化の違いにより、海外の子育てスキルが、日本人に違和感を覚えさせることもあります。本講座は、国内外の子育てスキルに触れながら、日本的な親子関係・心の健康についてお話ししました。

まずは受講者の皆様に、ご自身の子ども時代や子育て期の就寝形態を思い出していただき、就寝形態の文化差を考えました。日本では幼児を育てる家族の88%は、母子で一緒に寝ます。一方欧米では、親子は別室で寝るのが基本です。この違いは、家族の中心が親子にあるか、夫婦にあるかという文化差を象徴し、子育てスキルの違いにもつながります。

例えば、日本で開発されたファンクショナル・タッチ・ペアレンティング(麻生, 2014)では、子どもを寝かしつけるのに、抱っこやトントン、子守唄を歌うなど、子どもと近い距離での寝かしつけを提案します。一方、カナダ発祥のNobody's Perfectでは、子どもが大人の力を借りずに一人で眠り、夜中に目を覚ましても、自力で眠る力を養おうとします。そのため、就寝時間を過ぎた子どもが、泣いたり親を呼んだりしても、子どもに自分のベッドへ戻るよう促します。

日本独自の「甘え」という語も日本的な親子関係を象徴します。土居(1971)は、「甘え」が通用する心理的一体感のある間柄が、日本における自己と他者との関係の特徴だとしました。日本では、敬語の使い方や呼称も、他人・知人・身内の間では異なり、「うち」と「そと」を使い分けます。

養子や里子など、血縁関係にない親子が家族になるプロセスも、文化差があります。欧米では、里親子との間で守るべきルールを話し合っただけで約束し、ルールを破ったら、結果を引き受けさせます。一方、日本では、里親子関係を築く過程でみられる子どもの問題行動を「試し行動」ととらえ、それを受け入れることが信頼関係の構築につながると考えます。

このような違いは、愛着関係の違いにもつながり、愛着スタイルの国際比較においても顕著な差がみられます。親を積極的に求めない「回避型」の子どもは、欧米には多く、日本ではほとんどみられません。

日本の強い親子関係は、行動面や心理面の安定などポジティブな作用をもたらす半面、「引きこもり」や母子密着など、自立を妨げる作用をもたらすこともあります。また、相手との上下関係や立場に合わせたコミュニケーションは、周囲と協力する上では大切ですが、他者の目を気にしすぎることで、「対人恐怖症」のような日本特有の精神疾患を引き起こすこともあります。

こうした家族関係や対人関係の文化差は、どちらが良い悪いというものではなく、文化や価値観の違いによるものです。子育て支援にたずさわる専門家は、こうした違いを認識

し、欧米で評価されたからという理由だけで、日本人に強要することは避けなければなりません。

< 3 > 12月9日(土)・2月17日(土)

思春期の心の変化を理解する

下山 晴彦

思春期の若者は、成長していく過程で時として不安や恐怖を経験する。しかも、それを言葉で表現しないので、周囲のものは見逃してしまう。したがって、思春期の若者のサポートでは、そのような若者の気持ちを理解し、不安や恐怖などの「困った」を「安心」に変えていくことが重要となる。本講習会では、そのような若者への理解と対処の仕方をお話しました。

まず、思春期前の子どもや若者にとっては、不安や恐怖は、身体や行動の問題として現れやすい。そのため、「甘え」や「さぼり」と周囲も本人も受け取りがちとなる。また、不安や落ち込みの訴えは少なく、憂うつや悲しみよりも、集中力の低下ややる気の減退などとして示される。そのため、「怠け」や「無気力」と誤解される。その結果、不安や抑うつが見逃され、悪化に繋がる。さらに、眠れない、食欲がない、つらいといった抑うつの症状が出て、「自分でなんとかしなくちゃ」と考えて、1人でどんどん抱えこむ。学校へ行こうとして、お腹が痛くなったり怠(だる)くなったりしても、「友第・親・先生に心配かけちゃダメだ」と考えて、無理して登校してさらに体調が悪くなる。

集中できず成績が落ちて、「自分の努力不足だ」と考えて、夜更かしして勉強して昼夜逆転となり、学校に行けなくなる。ストレスでイライラすると、「どうしたらいいかわからない！」となって衝動的になり、暴力・自傷・いじめなどにつながったりする。また、「周囲の人に理解してもらえない!」「周りの期待に応えられない」「人が怖い」と考えて、ゲームやネットの世界に依存し、不登校、引きこもりに繋がる。

そのような若者は、自己肯定感が低く、「ありのままの自分が好きでない」「自分を受け入れない」「自分らしさを大切にしない」といった特徴がある。そのような若者に対しては、彼らの「わかってほしい」気持ちに応えることが大切となる。「わかってもらえた」「認めてもらえた」という経験を通して、人間関係における信頼感の土台を造ることが大切となる。他者(親など)への信頼感、自信の持つことにつながる。さらに個々の問題に関して、若者の肯定感を高めていくために、具体的にどのように彼らの話を聴き、語りかけるのが望ましいのかについて、事例を通して解説した。

最終的には、「良い子」ではなく、「自分らしさに自信を持てる」ことに向けてサポートすることの重要性を伝えた。それは、「私は私、これでいい」「私らしさって悪くない」「みんなに好かれなくても私を信頼してくる人はいる」「人と違って自分の意見を言ってみよう」「失敗しても自分のやりたいことをチャレンジしてみよう」といった感覚を持てることである。

6. OB・OG カンファレンス報告

跡見学園女子大学人文科学研究科臨床心理学専攻（令和4年度までの修了生 = 212名）

令和5（2023）年度 OB・OG カンファレンス報告

（会場 = 文京キャンパス M1303、ATOMI さくらルーム）、木曜 = 18:40 ~ 20:40 / 土曜 = 15:30 ~ 17:30

● zoom 開催

回	日程	OB・OG 参加者数	教員参加者数	院生参加者数	総数
1	04月13日（木）	11	2	2	15 + (1)
2	04月22日（土）	8	2	10	20 + (2)
3	05月11日（木）	10	2	6	18 + (2)
4	05月13日（土）	6	1	1	8 + (2)
5	06月03日（土）	6	2	3	11 + (1)
6	06月22日（木）	9	3	5	17 + (2)
7	07月08日（土）	3	1	2	6 + (1)
8	08月03日（木）	10	3	3	16 + (1)
9	09月09日（土）	5	2	0	7 + (2)
10	09月14日（木）	8	2	1	11 + (2)
11	10月07日（土）	7	2	1	10 + (2)
12	10月12日（木）	10	2	0	12 + (1)
13	11月09日（木）	10	2	0	12 + (1)
14	11月18日（土）	6	2	0	8 + (0)
15	12月14日（木）	10	2	0	12 + (2)
16	01月11日（木）	9	2	0	11 + (1)
17	01月20日（土）	9	1	0	10 + (0)
18	02月17日（土）	6	3	0	9 + (0)
19	02月22日（木）	9	2	0	11 + (2)
	2023年度合計 （のべ数）	152	38	34	224 + (25)

※ 3月は開催なし

7. 委員会報告

2023年度の委員会は以下の通りであった。

第1回 心理教育相談所委員会

日 時：令和5年6月14日（水） 12：20～12：47

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：下山晴彦、松崎くみ子、森まり子、板東充彦、福島里美

欠席者：阿部洋子（委員長に委任）

- 内 容：1. 令和4（2022）年度心理教育相談所活動報告
2. 令和4（2022）年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告
3. 令和4（2022）年度不登校を考える親の会報告
4. 令和4（2022）年度OB・OGカンファレンス報告
5. 令和5（2023）年度心理教育相談所活動報告（4・5月期）
6. 令和5（2023）年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（4・5月期）
7. 令和5（2023）年度心理教育相談所【新座キャンパス】無料講習会の延期について
8. 知能検査・発達検査に関する業務提携契約書について
9. 跡見学園女子大学附属心理教育相談所規程の一部改正について（案）

第2回 心理教育相談所委員会

日 時：令和5年10月25日（水） 12：22～12：35

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：下山晴彦、松崎くみ子、森まり子、阿部洋子、板東充彦、福島里美

- 内 容：1. 令和5（2023）年度心理教育相談所活動報告（4月～9月期）
2. 令和5（2023）年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（4月～9月期）
3. 令和5（2023）年度第20号心理教育相談所紀要について
4. 令和5（2023）年度心理教育相談所講習会【新座・文京】日程
5. 令和5（2023）年度公認心理士試験結果報告
6. 跡見学園女子大学附属心理教育相談所規程の一部改正について

第3回 心理教育相談所委員会

日 時：令和6年2月14日（水） 12：20～12：50

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：下山晴彦、松崎くみ子、森まり子、阿部洋子、板東充彦、福島里美

- 内 容：1. 令和5（2023）年度心理教育相談所活動報告（4月～1月期）
2. 令和5（2023）年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告
（4月～1月期）
3. 令和5（2023）年度OB・OGカンファレンス報告（4月～1月期）
4. 令和6（2024）年度心理教育相談所予算申請について
5. 令和6（2024）年度心理教育相談所開所日程（案）
6. 令和6（2024）年度心理教育相談所インターン合否判定
7. 心理教育相談所相談員・補助相談員の任命に関する件

8. 担当者会議報告

2023年度の心理教育相談所担当者会議開催は、以下の通りであった。

第1回 心理教育相談所担当者会議

日 時：令和5年4月12日（水） 12：20～12：53

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：下山、新井、小栗、酒井、鈴木、福島、板東、前場、松壽、宮岡、宮崎

欠席者：阿部（所長に委任）

- 内 容：1. 令和4（2022）年度心理教育相談所活動報告
2. 令和4（2022）年度大学院学外実習報告
3. 令和4（2022）年度不登校を考える親の会報告
4. 令和4（2022）年度OB・OGカンファレンス報告
5. 令和5（2023）年度不登校を考える親の会日程（4月～9月）
6. 令和5（2023）年度OB・OGカンファレンス日程（4月～9月）
7. 令和5（2023）年度心理教育相談所予算について
8. 令和5（2023）年度心理教育相談所講習会について（確認）
9. 心理教育相談所「当相談所ご利用につきまして」ホームページ掲載文書（案）
10. 心理教育相談所案件と今後の対応について
11. 令和5（2023）年度心理教育相談所担当者一覧について（確認）
12. 令和5（2023）年度心理教育相談所担当者会議日程について

第2回 心理教育相談所担当者会議

日 時：令和5年5月10日（水） 12：20～12：54

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：下山、阿部、新井、酒井、鈴木、板東、福島、前場、松壽、宮岡、宮崎

欠席者：小栗（所長に委任）、

- 内 容：1. 令和5（2023）年度心理教育相談所活動報告（4月期）
2. 令和5（2023）年度大学院学外実習報告（4月期）
3. 令和5（2023）年度不登校を考える親の会報告（4月期）
4. 令和5（2023）年度OB・OGカンファレンス報告（4月期）
5. N58の対応について

第3回 心理教育相談所担当者会議

日 時：令和5年6月7日（水） 12：20～12：54

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：下山、阿部、新井、小栗、酒井、鈴木、板東、福島、前場、松寄、

欠席者：宮岡（所長に委任）、宮崎（所長に委任）

- 内 容：1. 令和5（2023）年度心理教育相談所活動報告（5月期）
2. 令和5（2023）年度大学院学外実習報告（5月期）
3. 令和5（2023）年度不登校を考える親の会報告（5月期）
4. 令和5（2023）年度OB・OGカンファレンス報告（5月期）
5. 令和5（2023）年度心理教育相談所【新座キャンパス】無料講習会の延期について
6. 心理教育相談所規程の一部改正について
7. 知能検査・発達検査に関する業務提携契約書について

第4回 心理教育相談所担当者会議

日 時：令和5年7月12日（水） 12：20～12：50

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：下山、阿部、新井、小栗、酒井、鈴木、板東、福島、松寄

欠席者：宮岡（所長に委任）、宮崎（所長に委任）、前場（所長に委任）

- 内 容：1. 令和5（2023）年度心理教育相談所活動報告（6月期）
2. 令和5（2023）年度大学院学外実習報告（6月期）
3. 令和5（2023）年度不登校を考える親の会報告（6月期）
4. 令和5（2023）年度OB・OGカンファレンス報告（6月期）
5. 令和5（2023）年度公認心理師結果
6. 跡見学園女子大学心理教育相談所規程一部改正（案）について
7. 心理教育相談所講習会（新座）秋学期開催について
心理教育相談所講習会日程（案）について
8. 8月・9月の相談所担当者（案）について

第5回 心理教育相談所担当者会議

日 時：令和5年9月6日（水） 12：20～12：50

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：下山、阿部、小栗、酒井、鈴木、板東、福島、前場、松壽、宮岡、宮崎

欠席者：新井（所長に委任）

- 内 容：1. 令和5（2023）年度心理教育相談所活動報告（7・8月期）
2. 令和5（2023）年度大学院学外実習報告（7・8月期）
3. 令和5（2023）年度不登校を考える親の会報告（7・8月期）
4. 令和5（2023）年度OB・OGカンファレンス報告（7・8月期）
5. 令和5（2023）年度心理教育相談所講習会【新座キャンパス】（案）
及び心理教育相談所講習会【文京キャンパス】（案）
6. さくらルームの課題と対策について
7. 令和5年度春学期（4月～7月末）実習状況
8. 心理教育相談所紀要20号投稿のご案内

第6回 心理教育相談所担当者会議

日 時：令和5年10月11日（水） 12：20～13：02

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：下山、阿部、新井、小栗、酒井、鈴木、板東、福島、宮崎、松壽、

欠席者：宮岡（所長に委任）、前場（所長に委任）

- 内 容：1. 令和5（2023）年度心理教育相談所活動報告（9月期）
2. 令和5（2023）年度大学院学外実習報告（9月期）
3. 令和5（2023）年度不登校を考える親の会報告（9月期）
4. 令和5（2023）年度OB・OGカンファレンス報告（9月期）
5. 検査のインフォームドコンセントについて
6. 心理検査の実施時間について

第7回 心理教育相談所担当者会議

日 時：令和5年11月8日（水） 12：22～12：52

場 所：TeamsによるWeb会議

出席者：下山、阿部、新井、小栗、酒井、鈴木、板東、福島、前場、松壽、宮岡、宮崎

- 内 容：1. 令和5（2023）年度心理教育相談所活動報告（10月期）
2. 令和5（2023）年度大学院学外実習報告（10月期）
3. 令和5（2023）年度不登校を考える親の会報告（10月期）
4. 令和5（2023）年度OB・OGカンファレンス報告（10月期）
5. インターカーの名称変更に関して

6. 令和4年10月～令和5年9月末 M2実習状況

第8回 心理教育相談所担当者会議

日時：令和5年12月6日（水） 12：20～12:50

場所：TeamsによるWeb会議

出席者：下山、阿部、新井、小栗、酒井、板東、福島、宮岡、宮崎、松寄

欠席者：鈴木（所長に委任）、前場

内容：1. 令和5（2023）年度心理教育相談所活動報告（11月期）

2. 令和5（2023）年度大学院学外実習報告（11月期）

3. 令和5（2023）年度不登校を考える親の会報告（11月期）

4. 令和5（2023）年度OB・OGカンファレンス報告（11月期）

5. 令和6（2024）年度心理教育相談所インターン選考基本方針・実施要項（案）

※書類審査委員・面接審査委員の選出

第9回 心理教育相談所担当者会議

日時：令和6年1月10日（水） 12：20～12：50

場所：TeamsによるWeb会議

出席者：下山、阿部、新井、小栗、酒井、鈴木、板東、福島、前場、松寄、宮岡、宮崎

内容：1. 令和5（2023）年度心理教育相談所活動報告（12月期）

2. 令和5（2023）年度大学院学外実習報告（12月期）

3. 令和5（2023）年度不登校を考える親の会報告（12月期）

4. 令和5（2023）年度OB・OGカンファレンス報告（12月期）

5. 面接時間の変更について

6. 2.3月の相談所担当者（案）について

7. コロナ禍対応の解除について

第10回 心理教育相談所担当者会議

日時：令和6年2月7日（水） 12：20～12:50

場所：TeamsによるWeb会議

出席者：下山、阿部、新井、小栗、酒井、鈴木、板東、福島、前場、松寄、宮岡、宮崎

内容：1. 令和5（2023）年度心理教育相談所活動報告（1月期）

2. 令和5（2023）年度大学院学外実習報告（1月期）

3. 令和5（2023）年度不登校を考える親の会報告（1月期）

4. 令和5（2023）年度OB・OGカンファレンス報告（1月期）

5. 19期生学外実習先 春・秋割り振り

6. 令和5（2023）年度臨床心理士資格試験結果について

7. 心理教育相談所相談員・補助相談員の任期について
8. 令和6(2024)年度心理教育相談所開所日程(案)
9. 令和6(2024)年度心理教育相談所講習会について
10. 令和6(2024)年度インターカー募集について
11. 令和6(2024)年度予算申請行動観察システムについて
12. 心理教育相談所 暖房便座取替について
13. 令和6(2024)年度TAについて

第11回 心理教育相談所担当者会議

日時：令和6年3月6日(水) 12:20～12:50

場所：TeamsによるWeb会議

出席者：下山、阿部、新井、小栗、酒井、鈴木、板東、福島、前場、松嵩、宮岡、宮崎

- 内容：1. 令和5(2023)年度心理教育相談所活動報告(2月期)
2. 令和5(2023)年度大学院学外実習報告(2月期)
3. 令和5(2023)年度不登校を考える親の会報告(2月期)
4. 令和5(2023)年度OB・OGカンファレンス報告(2月期)
5. 令和6(2024)年度心理教育相談所インターン選考結果報告
新規=2名、継続=15名 合計17名が来年度インターンとして登録
6. 令和6(2024)年度心理教育相談所インターカー選考結果報告
新規=3名、継続=7名 合計10名
7. 令和5(2023)年度心理教育相談所講習会【新座・文京】実施報告
8. 令和6(2024)年度心理教育相談所オリエンテーション
9. 令和6(2024)年度相談所担当者一覧(案)について
10. 令和5(2023)年度公認心理師試験結果・臨床心理士試験結果について